

# なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

10月のなんでも相談会は、26日(木)13時半~1日30分まで1日4組。法律相談、税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。

インボイス制度個別相談会は6日(金)、18日(水)、26日(木)10時~16時(45分毎)となります。



(購読料は組合費の中に含まれています。)  
定価三十円

発行所  
東京土建一般労働組合  
城北ブロック会議  
東京都豊島区西池袋5-22-15  
電話 豊島 (3986) 2471  
北 (5390) 6021  
板橋 (3963) 5325  
練馬 (3825) 5522  
発行人 寺島 耕平  
発行予定日 毎月4回  
1日、9日、17日、25日



## 秋の拡大月間スタート 対話で仲間を増やし、 より大きな運動へ 全6分会に決意を聞きました

秋の拡大月間が始まりました。東京土建一般労働組合では、都内都下36の全支部が総力を挙げて、9月、10月と集中的に仲間を増やす取り組みを進めます。組合員数は、組合力につながり、運動の推進力になるものです。仲間をふやす取り組みは重要です。そして、その取り組み自体が、仲間とのコミュニケーションを広げ、信頼関係を築き、組合力の礎にもなります。

8月27日の午前中に、全分会による統一宣伝行動として、ポスターの貼り替えと、古い立て看板を新しいものに設置しました。そして、翌28日、29日は秋の拡大第一次行動として、チラシまきや、訪問行動を行いました。

### 組合員の皆さんへ

組合員の皆さん、ご苦労様です。23年度秋の拡大行動が始まりました。

3年ぶりとなる活動者会議が、本部から渡辺副委員長を講師に、区民センターで開催されました。「君たちはどう生きるか」という内容の講演でした。そのなかで、「人に厳しく自分にも厳しく」と話されてましたが、私も含めほとんどの人が、自分に対しては、甘い考え方や行動をとってしまっていると思います。この秋の拡大月間で頑張らなければ、結局はこれ以降の

執行委員長  
宮本 卓廣



拡大期間においても、力を出し切れないまま組織実増は難しく、運動は減退していきます。

活動者会議の後で行なわれた「出陣式」は、大いに盛り上がり、全分会の意欲にあふれた決意表明も有りました。支部目標の1%実増に向けて、豊島支部の総力を挙げて頑張っていきたいと思っています。共に頑張りましょう。



### 『実増めざして頑張ろう!』

南池袋分会 太田孝司分会長



南池の太田です。今回も拡大に対しては、南池の皆さんに、お忙しいところ、頑張ってもらって貰ってます。夜の役員訪問、ポスティングやら、後は電話かけなど、頑張っていますが、今の所成果があまりでてませんが、全分会達成に向けて頑張っていきますので、宜しくお願い致します。コロナ禍では分会へ人を集める事が難しかった為、分会センターに集合する機会が大幅に減って過ごした新役員や若手、新加入者をどうやって拡大行動へ誘うのかも大きな課題です。顔の繋がりが無いと声かけをしても響きません。分会レクの再開や色々なイベントでの声掛けから、幅広い世代で力を合わせる分会作りを進めつつ、力を合わせて拡大を頑張ってもらいます。

### 『全群・全組合員のつながりで実増を目指そう!』

かなめ分会 川村雅彦副分会長



副会長の川村です。この拡大に向けて、各分会大変だと思われそうですが、かなめ分会の皆様、まだ土建に加入されていない方が近くにおりましたら声を掛けて頂けたら幸いです。

又、かなめ分会では、10月14日に新加入者歓迎会も行う予定もありますので、5群の群会議を支部で開催して次年度以降の役員体制について議論する予定です。

11月にも懇親会や他の群の群会議オルグをしていきたいと思っています。困った時や色々な相談も出来ますので皆んなの組合東京土建だと思って頂けたらと思います。

まだ日中は猛暑で現場では皆様大変な日々をすごされて居られると思いますがもうすぐそばに秋が来ると感じます。食欲の秋に向けてもう一踏ん張り頑張りましょう。よろしくお願ひ致します。

### 『さくらの拡大は今年の夏より熱いぞ!』

さくら分会 土橋弘典通信員



秋の拡大スローガンの通り、訪問行動も積極的に行います。東京都が行う『東京018サポート』パンフレットを持参し、同世代の分会役員が必ず1人は入る訪問班を作り、子育て世代の仲間への訪問行動をとります。

本部後継者の提案、「後継者世代への訪問は、同世代の仲間に対話をしながら相談活動を」、に基いて行動します。

当初は、子育て世代交代への訪問材料がグッズだけでは少しインパクトが心配でしたが、『東京018サポート』の案内という訪問アイテムがありますので、旺盛に同世代の仲間への訪問をしていきます。分会内事業所へも同様に昼間や夕方からの訪問も行っています。

スタートダッシュが大事という事で、月間前から事業所に、誰か紹介出来る下請け・外注さん又は新入社員の方がいればと声掛けしていることもあり、9月の2次行動時点で4人の新しい仲間を迎えることが出来ました。あとは節ごとにしっかりと対象者をとらえながら訪問・対話を重ねて行きます。

さくら分会は秋の目標は9人ですが、秋をやり切っても年間目標の30人をやり切り、1/1現勢実増目指して頑張ります!

『一人はみんなの為に、  
みんなは一つの目的の為に』

上池袋本町分会  
若林光徳分会長



残暑の中、秋の仲間作り運動が始まりました。暑い中での協力ありがとうございます。

活動者会議で仲間の助け合いや諦めない事の大切さを教えていただきました。

仲間の訪問行動をして困り事の聞き取りを行ない、共済等の制度の活用と周知する事が大切です。

最後まで諦めないで一人でも多くの仲間を迎えて、より仲間の生命と生活を守る組合を目指します。

上池袋本町分会では、今年も秋の住宅デーを開催します。隔年で上池袋と池袋本町で開催してましたが住民の方達の要望により2回開催しています。知らない職人さんの立ち寄りもあり宣伝にもなりました。

近年、参加協力者の減少もあり各分会の協力と企画の提案をお願い致します。

『人手不足の時代  
諦めずに皆んなで頑張ろう!』

池袋分会  
白井理八分会長



新型コロナによる行動制限が解かれ、以前の生活を取り戻そうと社会が動きはじめたものの、建設業は物価高騰と人手不足、また倒産の急増で苦しい時期に差し掛かってる状態です。その中で人間関係が希薄な現代に於いて、またそれが顕著な都市部での拡大行動は非常に困難な事に思えてなりません。

不安要素ばかりが頭の中に並んでしまっていますが、前回の春の拡大では先輩役員方が職場の先々で繋がりを活かし、新規加入者をつくり目標達成を遂げています。日々の親切で丁寧な付き合いが種となり、成果に現れた実例を見せてもらえました。

チラシ配りでは過去実際に効果の出た地域を重点的にまわる、データを活かした行動を書記の方より提案していただき早速に実動しています。「私達、建設労働者の基本的人権を守り経済的、社会的、政治的地位の向上をはかる為」池袋分会ではブレる事なく目標達成に向けて、常にできることからコツコツと行動しています。

『it's show time ~仕事と土建の二刀流~』  
全世代が活躍する拡大へ

椎名町分会 田中承宏分会長



椎名町分会では1月1日現勢を割り込んで秋の拡大月間がスタートしたことを踏まえて、訪問を増やし、顔を見て話し、脱退を防ぐ取り組みを重視していきます。

具体的には、2日間あるうちの初日にチラシまきと計画を立て、2日目に行動していきます。女性の会、豊寿クラブ・後継者と分け、それぞれが主体的になり訪問場所を決めています。イベントがある場合は告知を重視、最近顔を見ない仲間には様子を見に行くなど、センターにとどまらない取り組みをおこなっています。

特に、若手を訪問する際は何か一つアピールできるものを用意していきます。留守も多いですが、話を聞いてくれる仲間も多いです。地元の話で盛り上がりやすくなることもあります。少しずつですが土建の輪を広げていきたいと思いつつ行動しています。

今秋の拡大月間は苦戦が予想されていますが、通常の拡大や飛び込み加入に加え、業務利用をすすめながら、拡大達成・超過を目指します。

補助金学習会について

そもそも補助金については、複雑で煩雑なイメージがありました。

自分の様な個人事業主には縁のないものと思っていました。

しかし学習会で補助金の制度を知る事で自分にも関わることがあり得るといのが分かりました。

まず補助金というのは、「国や自治体が政策目標実現のため事業者の取り組みをサポートするもの」という事を知り、建設業に関しては、住宅省エネキャンペーン、クールネット



拡大訪問中の大浦さん

東京など補助対象が結構ある事、予算消化状況をみると「こどもエコすまい支援事業」は9月中に終了見込み「先進的窓ノベ事業」は8月末時点で約60%消化している状況を知ると補助金を利用している事業者はかなりのいるという事も知りました。

自社で活用可能な制度についても

デモ歩けずとも集会参加

インボイス導入など中止訴え

9月13日、日比谷野外音楽堂で開催した、もう黙ってられない9・13大集会に参加しました。

当日は、30度を超える気温で、野音の中は35度くらいではなかったかと思えます。来年から改修工事が始まるので、今の姿の野音に来るのは今日が最後らしいです。暑かったり寒かったりと、大変だった思い出しがなく、寂しいやらせいせいするやらで複雑な気持ちです。

後で、参加者数は1700人くらいと聞きました。確かに空席が目立ち、暑さのせいもあるのか参加が少ないように感じました。

2年前に大腿骨を骨折してから、歩いていると時々すごく痛むことがあります。1時間ほどの集会のあと、デモ行進に出発しました。しかし、東京土建はいつもデモの出発は最後で、長時間出口で待たされました。そのうち立ってられないくらい痛みがひどくなってしまいました。周りの仲間たちからも、無理をするなど止められ、途中で離脱して悔しい思いをしました。しかし、デモは最後まで歩けないかも知れないから、と最初からあきらめて集会にも参加しないよりは良いと思います。次は最後まで歩けるよう頑張ります。

(小堺寿男 池袋分会)

読まれやすい記事を書こう

第二回教宣学習会を8月25日に開催しました。本部「けんせつ」の元編集長の向井さんを講師に招いて、基本的な記事の書き方について学習しました。参加者は講義のあと、実際に記事を書き、向井先生から後日、それらの記事についての書評を受け取りました。



石川博子通信員 さくら分会

建設業の夫と結婚して、子供が義務教育を卒業するまで、専業主婦として夫の両親、妹、弟と住み込みの弟子と同居していました。

父が親方として何人かの下職の人を抱えていました。最初は、仕事のこと、家のことに口を出せる状態ではなかったのですが、父が現場で東京土建に加入してきました。

父は、それから月2回の勘定日に組合の良さを話すようになりました。私も職人さんが長居をするときは、話の仲間に入り、奥さんのこと、子どものことなど話し、家族ぐるみの付き合いになりました。中には労災で大変世話になり、大変感謝されました。現在も女性の会では、楽しみもあり加入者を探す努力をしています。

向井先生の書評

石川博子さん

家族と職人さんのお世話で頑張ってきたんですね。機関紙、特に分会ニュースは「仲間としての共感」を育てるのが大切とお話しましたが、率直に自分のことを語り合うのは共感の基礎になります。

そういう意味からも、具体的なエピソードがほしかったところです。専業主婦ですから、毎日毎食は苦勞工夫をされたのではないのでしょうか。失敗もあったと思います。そのことを書くことで、関心と共感は深まります。女性の会での楽しみにしていることも書けば、「私も行ってみようか」となります。

読者(組合仲間)はこの記事を読んでどう思うかな、という視点で書いた記事を読み返してください。

次号でも、他の参加者の記事とその書評を掲載する予定です。

説明して頂き「小規模事業者持続化補助金」(販路拡大に資する取り組み)「IT導入補助金」(IT化、インボイス対応会計ソフト)など自分にも活用可能な補助金制度がある事を知りました。

ただ自分で補助金の申請をする事は非常にハードルが高いと思いま

すが、今回講師をして頂いたローカル行政書士事務所の森谷先生に自分の事業に関してどの様な補助金制度が利用できるのか今後相談して自社の成長に繋げる事が出来得るといのは、今回の補助金学習会に参加させて頂いたからだと思いました。

(大浦康昭書記長 かなめ分会)